

かいせいかんがい たてもの
開成館以外の建物

あさかかいたくかんしゃ
安積開拓官舎
きゅう たていわいちろう てい
旧 立岩一郎 邸



たてもの
それぞれの建物について、
いろいろなことを
しらべてみよう！



あさかかいたくにゅうしょくしゃじゅうたく
安積開拓入植者住宅
きゅう おやま け
旧 小山 家



あさかかいたくにゅうしょくしゃじゅうたく
安積開拓入植者住宅
きゅう つぼうち け
旧 坪内 家



きねん
☆☆記念スタンプ☆☆

こおりやましかいせいかん
郡山市開成館



かいせいかん
開成館ってどんなところかな？
たてもの
建物の中には何があるのかな？

名前	学校名	年 組

郡山市開成館

〒963-8851 郡山市開成三丁目3番7号
TEL/FAX 024-923-2157



この印刷物は、環境にやさしいベジタブルインクと、再生紙を使用しています。紙へリサイクル可。

かいせいかん 「開成館」ってどんなところ？

いつ、建てられたの？

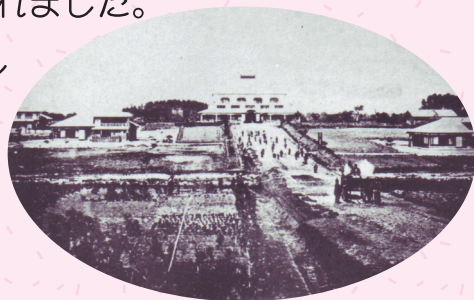
開成館は、郡山地方にまだ洋風建築が伝わる前の明治7年(1874年)に、郡山の職人たちによって洋風の建物をまねて建てられました。

どんなふうに使われたの？

区会所(今の役所のようなもの)として使われ、安積開拓の中心となる「福島県開拓かかり」の事務所もおかれしました。

また、明治9年(1876年)には、明治天皇がお泊まりになり、さらに明治14年(1881年)には昼食をとる会場として使われました。

その他にも、県立農学校、村役場などとしても使われました。



明治のころの開成館

そして今は…

「安積開拓」の歴史を伝える資料館になっています。

あさかかいたく 「安積開拓」ってなんだろ？

明治6年(1873年)からはじめられた安積原野の開拓全体を「安積開拓」といいます。

その「安積開拓」には、次のようなたくさんの開拓があります。

- ◆旧福島県による開拓
- ◆地元商人たちの「開成社」による開拓
- ◆仕事をなくした全国の武士たちが安積原野にうつり住み、おこなった開拓

そのほかにも、地元の人びとによる開拓などがあります。これらの開拓がおこなわれることによって、安積そ水の工事をはじめられました。

明治のころの郡山は、原野がおおくて田や畑が少なかったんだ。



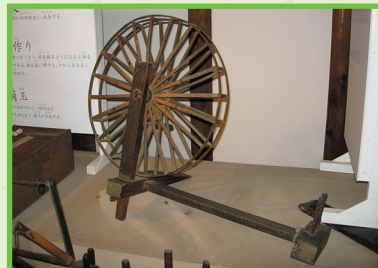
昔の人たちが苦勞して原野をきりひらいて、田や畑にしたのね。

おかし とうぐ
昔の道具がたくさんあるよ！どんなふうに使ったのかな？
しゃしん せん
写真と文を線でむすんでみよう。 答えは開成館の中にあるよ。



『行灯(あんどん)』

木や竹で作ったわくに和紙をはり、中で油をもやして火をともし、照明具です。



『鍬(くわ)』

田や畑を深くたがやすための道具です。



『糸車(いとぐるま)』

綿などを細く引き出し、糸にして巻きとるための道具です。

ほかにもいろいろあるのね！



ようさん
養蚕

いるい
衣類



こめづく
米作り

しょっき
食器